

## I 研修主題

# 主体的に考え、表現できる児童の育成

～ICTの効果的な活用の視点を明確にした学習過程の工夫を通して～

## II 主題設定の理由

令和2年度より全面実施となった学習指導要領の基本的な方向性として、「対話や議論を通じて自分の考えを根拠とともに伝えとともに、他者の考えを理解し自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができること」を学校教育を通じて、子供たちに育てたい姿の一つとして挙げている。そして、それらの実現のために単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこととしている。

本校では、令和2年度において、各教科の学習でプログラミング的思考を取り入れることで、論理的に考えていく力を伸ばし、主体的に考え、表現できる児童の育成を目指し、研修を行った。結果として、児童が主体的に学習活動に取り組み、思考する様子が見られたり、ICTを活用することで、他者の意見と比較したりする姿が見られた。一方で、ICTを使うこと自体が目的になってしまう場面も見られたため、効果的な使用方法・場面について課題が残った。また、他方で丁寧な指導を心掛けるあまり、教師主体の授業により、児童同士の対話が疎かになってしまう場面も見られたため、「主体的に考え、表現できる児童の育成」をいかに図っていくかには課題が残った。

そこで昨年度は、「主体的に考え、表現できる児童の育成」を主題とし、また、ICTを効果的に取り入れた学習過程を工夫することを、その主題の手立てとして研修を行った。その結果、教師のICT活用スキルが向上し、児童自身の考えと他者の考えが交流できる場などを設定することができ、また、児童のICT活用スキルも向上し、スムーズに学習活動に取り組むことができるようになった。そのことが、主体的に考え、表現できる児童を育成することに寄与してきた。また、ICTの効果的な活用とは、①思考の視覚化②擬似的な具体物の操作③試行錯誤の容易さ④考えの共有など、視点として挙げられることが、研修より明らかになった。しかし、ICT活用法は日進月歩しており、効果的な活用のためには、各サービスやアプリの特徴を把握することが欠かせない。それに加えて、本校は毎年、新しい教師が入れ替わってしまうため、教師間のICT活用スキルの積み上げが難しいのが課題である。

以上のことを踏まえ、今年度は「主体的に考え、表現できる児童の育成」を継続的な主題とし、研修を行うこととした。また、昨年度の「ICTを効果的に取り入れた学習過程の工夫」からさらに範囲を広げるとともに、効果的なICTの活用方法や場面について、視点を基に、指導方法を工夫することで、さらに主体的に考え、表現できる児童の育成を図ることができると考える。

## III 研修のねらい

各教科・領域において、ICTを効果的に取り入れた学習過程の工夫をすることで、児童が主体的に考え、表現できるようになることを、実践を通して明らかにする。また、新たなICTの効果的な活用の視点を探る。

## IV 研修の見通し

各教科・領域の学習において、児童の実態や教科・領域の特性に合わせて、学習過程の中にICTを効果的に取り入れることで、児童がより主体的に思考し、自分の考えを表現することができるであろう。

## V 研修の内容と方法

### 1 研修の内容

#### (1) 目指す児童の姿の明確化

##### ①「主体的に考え、表現する」とは

児童一人一人が内発的に学習への意欲をもち、教師に指示されて行うのではなく、課題に対して子ども自身が授業の見通しをもち、自力解決や集団解決に向かう姿を「主体的に考え、表現する」と捉える。

また、自分の考えを、その考えの根拠となる理由を含めて、言葉や文章、ICTなどを用いて他者に伝えることを「自分の考えを表現する」と捉える。

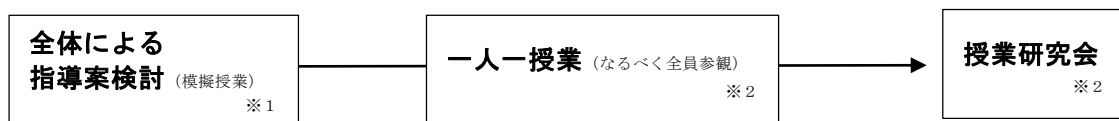
##### ②「ICTの効果的な活用」とは

「①思考の視覚化②擬似的な具体物の操作③試行錯誤の容易さ④考えの共有」と捉える。

#### (2) ICTを取り入れた学習活動についての研修

#### (3) 授業実践

○一人1授業、指導案（略案）、授業研究会の充実



※1 授業者が設定する。

※2 平井CIOにも参観、指導いただく。

○一人1授業に向けての教材研究および指導案の検討

#### (4) 少人数学級のよさを生かした指導の工夫

### 2 研修の方法

○文献や先行実践をもとに研修を進める。（「はばたく群馬の指導プランⅡ」等）

○一人1授業を計画的に行い、前回の授業の成果と課題を生かした積み上げのある授業づくりに取り組む。

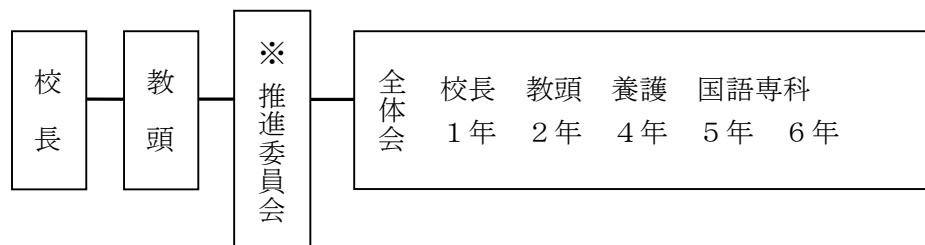
○日常指導として教室における豊かな言語環境づくりに取り組む。

○要請訪問、研究会への参加や、その報告等を通して共通理解を図る。

○Googleチャットを活用したICT活用事例の共有

○ICTに関する日常的なOJT研修

### 3 研修組織



※ 推進委員会・・・校長、教頭、学力向上 CD、校内研修主任

#### 4 研修計画

回	月 日	曜日	主 な 内 容		備 考
1	4月11日	月曜日	校内研修①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修主題・内容と方法等の検討(研)</li> <li>・学力向上計画について(学)</li> <li>・家庭学習の手引きについて(学)</li> </ul>	
2	4月18日	月曜日	平井先生来校(合)		
3	4月25日	月曜日	校内研修②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校漢字テスト・算サuntimeについて(学)</li> <li>・前年度学力テスト(CRT)の分析(学)</li> <li>・タブレット活用についての周知(情)</li> </ul>	紙面開催
4	5月16日	月曜日	小中合同研修		
5	5月17日	火曜日	平井先生来校		
6	5月23日	月曜日	校内研修③	・経営訪問の指導案(外所)実践検討(研)	
7	6月13日	月曜日	平井先生来校(合)		
8	6月24日	金曜日	経営訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校課題解決のための代表授業(外所)</li> <li>・授業研究会</li> </ul>	※一人1授業を兼ねる。 指導案 印刷・送付 6/( )
9	7月11日	月曜日	小中合同研修		
10	7月12日	火曜日	平井先生来校	一人1授業 山田	
11	8月22日	月曜日	校内研修④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上学習アンケートの結果についてと2学期の方策についての協議(学)</li> <li>・授業訪問について協議(研)</li> <li>(教科決定、指導案について)</li> </ul>	紙面開催
12	9月8日	木曜日	平井先生来校	一人1授業 大塚、酒井	
13	9月9日	金曜日	小中合同研修		
14	10月4日	火曜日	平井先生来校(合)		
15	10月14日	金曜日	授業訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員、指導案(全案)を基に授業</li> <li>・授業力の向上</li> </ul>	指導案 送付 10/( ) 指導案は管理職に提出
16	11月7日	月曜日	平井先生来校	・全体的に参観していただき指導	
17	11月8日	火曜日	小中合同研修		
18	11月28日	月曜日	校内研修⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査分析</li> <li>※冬休み中に成果と課題を提出</li> </ul>	紙面開催
19	12月12日	月曜日	小中合同研修		
20	12月13日	火曜日	平井先生来校	一人1授業 横川	
21	1月16日	月曜日	平井先生来校(合)		
22	1月30日	月曜日	校内研修⑥	・来年度の方向性について検討	
23	2月14日	火曜日	平井先生来校(合)		
24	2月20日	月曜日	校内研修⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CRT(学力テスト)の結果について検討</li> <li>・来年度の主題について検討</li> </ul>	
25	3月7日	火曜日	平井先生来校(合)		